

## [前回(第4回)の振り返り]

# 新しい市民活動拠点をつくる上でどんな機能や役割が必要か

## つながりのある拠点

- ・人が集い、情報が取得できる場
- ・小さな規模でも団体と団体がつながること新しいものをつくる
- ・テーマを絞っても集まれる場
- ・ゆるくつながっている状態
- ・お茶を出しながら気楽に話せる環境
- ・話合う場や交流の機会
- ・違う分野の人と出会い、交流できる場所・機会

ネットワーク  
構築のための  
交流空間

- ・常時人が集まってくるフリーな場所
- ・自治会や地域とは離れて活動できる
- ・事務所や物置、会議などのための場所の提供、情報の提供

活動場所や事  
務機器の提供

- ・地域での仲間づくりをサポートする人
- ・絶対的リーダーへのつなぎとそのネットワーク化
- ・各団体の思いが違って何か一緒にやれるような機会
- ・イベントなどを通じて同じ志のある人とつながれる仕組み
- ・情報交換ができ、スムーズにネットワークがつかれるようなコーディネーター

コーディネー  
ト・コンサルテ  
ィングの実施

## ひろがりのある拠点

- ・考え方を学ぶ機会づくり
- ・自身の興味関心以外の気づきにつながる場
- ・ルッチまちづくり大の仕組みとは違うセミナーの実施

学びや気づき  
の機会提供

- ・仕方なく始めても楽しいと感じられるような転換の機会
- ・後継者の育成
- ・自分の専門分野外の要素を活動に取り入れる力を身につける
- ・まちのニーズや課題を察知し、活動する力を養う。

担い手育成・  
スキルアップ  
支援

- ・自治会活動を応援できる環境
- ・市の関与の度合いを団体側で選択できる状況
- ・自治会総会などの仕組みの活用

運営支援・  
コミュニティ  
ビジネス支援

## 多様性・柔軟性のある拠点

- ・活動を広げたいと思った時にいろいろ相談できる所
- ・思いを持った人が表に出せるようになるきっかけの提供
- ・小さいことから始めたいと思った時に相談できる人
- ・地域から離れて悩みごとなども相談できる場所

市民活動の窓口的支援と相談援助

- ・少数派の趣味や興味であっても展開し、仲間がくれる場
- ・楽しさや充実感がある活動
- ・自分の好きなこととして続けられるような環境
- ・必要に応じて選択できること
- ・仕事や家庭を持ちながらも自分たちの出来る範囲で地域に関わるという形の支援
- ・10年、30年先に成果の出るような先を見据えた目的での活動
- ・ホストタウンなどを契機とした国際理解と交流

豊かな文化と多彩な暮らしの充実

- ・若い人が活躍でき、その意見を取り入れられることが必要
- ・市の力を入れている方向がわかるような場
- ・既存の組織でもネーミングの変更を提案していけるような改革提案
- ・若者や大学との連携などにつながる場
- ・活動を次代の担い手につなぐ学生連携の仕組み

様々な主体との協働や公民連携の推進

## 外部への発信力のある拠点

- ・情報を共有できる場、情報が届く仕組み
- ・個人的な小規模活動の情報も他地域に届き、他地域でも実施できるようにする仕組み
- ・各団体や個人の活動情報をまとめたwebサイトの作成
- ・今ある伊吹山TVなどの利便性の向上
- ・イベントが重ならないような調整
- ・SNSで得た情報を拠点の中で伝えられるような環境
- ・活動する市民の投稿情報をまとめる機能
- ・団体同士が情報を宣伝しあえるような発受信機能が必要

情報の収集・一元化・提供・発信

- ・若い人がいない日中にあるリタイア組の空間づくり
- ・既存の制度を利用できないような人にも届くつなぎ
- ・表に出ない思いにあわせてくれる支援
- ・小さな単位で集まれる仕組み
- ・拠点を利用したいと思ってもらえるきっかけ

求めている人に届ける仕組み